

# お知らせ

## ご自宅の耐震化はお済みですか？



市では、木造住宅耐震診断士派遣事業とともに、木造住宅の耐震改修設計及び耐震改修工事への補助制度を実施しています。

建物の耐震基準が大きく改正された昭和56年以前のいわゆる旧耐震基準で建築された木造住宅は、東日本大震災や阪神淡路大震災などでも大きな被害を受けていることから、建物の耐震化をお勧めしているところです。

### 対象となる住宅

- ①昭和56年5月31日以前に建てられた木造住宅
- ②延べ面積が30㎡以上で2階建て以下
- ③耐震診断において耐震不足と診断された住宅

### 耐震改修までの流れ

#### ステップ1 耐震診断

木造住宅耐震診断士による、耐震改修等の必要性を目的とした耐震診断を行います。

自己負担 2,000 円

#### ステップ2 耐震設計

耐震診断をより精密に行い、補強などの設計書を作成します。

助成率：3分の1、助成限度額：100,000 円

#### ステップ3 改修工事

耐震診断・耐震改修設計を経て、改修工事を行います。

助成率：3分の1、助成限度額：400,000 円

詳しくは下記までお問合せください。

【問合せ先】北茨城市役所 都市計画課 建築指導係 TEL 0293-43-1111(内線 284)

『平成28年度 住まいづくり情報ガイドブック (茨城県土木部都市局住宅課)』より引用

## 耐震改修工事の実施事例

### 総合評点

補強前 0.31

補強後 1.01

改善

### ■住宅概要

建築年 昭和53年  
(1978年)  
階数 2階建  
2階 約30㎡  
1階 約80㎡  
延面積 約110㎡

### ■評点 (上部構造評点 Pd/Gr)

方向	補強前		補強後	
	X方向	0.31	1.01	1.04
1階	Y方向	0.71	1.04	

### ■工事費

内容	金額 (円)	備考
仮設工事	70,000	
解体、復旧	100,000	
耐力壁補強	500,000	11カ所
基礎補強	30,000	
諸経費	100,000	
消費税	40,000	
<b>工事費計</b>	<b>840,000</b>	

※この費用は目安であり、住宅の状態等により異なります。

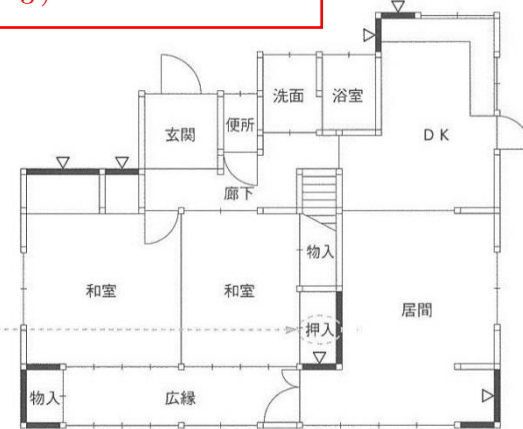
### ■耐震補強の概要

仕上げ工事が不要な押入れ内の補強と、既存外壁材の再利用などにより工事費用を抑えた事例。

この耐震改修工事の場合、28万円の助成金が市から交付されます。(助成率 1/3)



押入れ内の補強  
押入れの壁を筋かいと構造用合板で補強しました。押入れ内は塗装や壁紙の工事が不要なので工事費用を抑えることができます。



■ 構造用合板による補強  
▽ 筋かい (シングル) による補強

### ※注意

本事例は工事費を最大限抑制した場合の一例として掲載しておりますが、各々の住宅の状況等により改修内容が異なりますので、本件以上の工事費となることがあります。